

議 事 録

会 議 名	第9期第2回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和6年10月11日(金) 午後2時～午後3時30分		
開 催 場 所	町民センター3階 講義室		
出席者名、 欠席者名 及び傍聴 者数	<u>○出席委員</u> 中島委員 星委員 齋藤委員 寺本委員 藤澤委員 大森委員 大久保委員 小澤委員 山元委員 丸山委員 吉川委員 ゲン委員 杉下委員 安田委員 <u>○欠席委員</u> 相田委員 小泉委員 <u>○事務局</u> 菊地町民部長 芝崎町民協働課長 飯塚主査 中村主事補 <u>○傍聴者数</u> 1名		
議 題	今期会議調査・協議事項について		
決 定 事 項	●議事録承認委員 齋藤委員、寺本委員 ●今期会議調査・協議事項 自治基本条例の見直し		
公 開 又 は 非 公 開 の 別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事録承認委員の選出 4 議題 今期会議調査・協議事項について 【藤澤会長】議題に入ります前に、第8期の会議では、皆さん、お互い委		

議事の経過	員呼びではなく、平等に「さん」づけでお呼びしていたという話を伺っております。今期もそうさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。 (全委員「異議なし」の意志表示あり) 【藤澤会長】それでは、早速議題に移らせていただきたいと思います。議題は「今期会議調査・協議事項について」です。前回様々なお話をさせていただく中で、テーマについて大きくは自治基本条例の見直しと、公募委員を含めて審議会は成長していかななくてはならないという話がありました。外国人の住民投票の関係も話が出ましたが、そういったことを踏まえて、自治基本条例の全体的な見直しをこの第9期でできたらいいのではないかという話がありました。また、行政と住民と企業が一体化してできるようなイベントの開催や、今までのまちづくり推進会議の方向性がぶれないように、しっかりとテーマの方向性を定めていくべきという意見、前期委員の意見にもあるような、農業を通した多世代交流など、若い世代が農業に興味を持てるようなイベントを開催すると、今までのまちづくり推進会議と、これからの新しくやるべきことの方向性が統一できるのではないかという話があったと思います。このほかに、新たなご意見がない場合は、今上げた内容から決めてよろしいか、皆様一人一人に意見を伺いたいと思っております。この中から選ぶというご意見でも構いませんので、よろしくお願いいたします。 【安田委員】多摩大学では、寺島学長と寒川町のことを話しておりまして、2022年の1月、2月には観光を中心とした農業や、ホテルを町内に建てるとうどうなるのかといった内容の講演を6回、商工会議所とやらせていただきました。寺島学長からも、だんだん農業が廃れていくというのはよく分かるがやはり寒川は農業だというお話もありまして、農業が廃れていっているというのは寒川だけの問題ではなくて、日本全国の問題なので、そういう意味では農業と観光を合併させるというのは安易に言うことができないが、それぞれの専門家を数名呼んで、講演、勉強会、そういったものを考えたらどうかという提案は学長と進めさせていただいております。地域活性化のほか、多世代交流も行い、若い人と年配の方と一緒に何かをしてもらって、若い人は様々なことを学び、そして年配の方は、自分が役に立てるとい生きがいを見いだせるような取り組みを、高校では盛んに行っているようです。多摩大学にもそのような経験のある学生さんがおり、大学でも寒川町と連携して、同じような活動に取り組んでおります。こういった内容についても、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思います。 【杉下委員】前回、自治基本条例の制定から、ある程度見直しについての意見をさせていただいたので、今回は特にないののですが、第7期の際に、協働事業や、協働とは何かというご意見が出ました。主催、共催、後援が
-------	---

あると思いますが、これらの違いは何かを考え、第7期会議でその違いの説明をリスト化し、分かりやすくなりました。今後の議論の参考資料としてご提供いただけますと、議論について整理しやすいかと思います。

【グエン委員】私は特にございません。

【吉川委員】自治基本条例の見直しも大事であり、先ほど仰っていた農業についても大事と感じており、どちらを選ぶかということで迷っております。

【丸山委員】寒川イコール農業という話を聞き、中学生などは、あまりそれを知らないのではないかと思います。世代間のやり取りでもう少し農業について広められるイベントなんかがあればいいと思いました。

【山元委員】私は地域連合から推薦で来ております。先ほど農業の町という話があったと思います。昨今、企業側も大きく町に参画するイベント等が少なくなってきたので、そういうのも参画しながら、町と一緒に盛り上げる活動をしていきたいと思います。

【小澤委員】先ほど安田先生から農業のまちという話がございましたが、私は元々農業、養鶏を行っていましたが、高齢化が進み、段々町が栄えると、養鶏場の運営が困難であると感じました。そういったことを考えますと、寒川町は方向転換をするべきではないかと思います。今、商工会では、寒川神社を中心としたまちづくりをするべきではないかと考えています。ほかの市町村に在住の方に、寒川神社しかない町だと思われてしまうと、少し寂しいですが、逆にそれを活かしていかなければいけないと考えております。また、丸山さんも仰っていましたが、子どもたちがこれから本当に大事ですので、少子化と対峙していくようなまちづくりをしていかなければいけないと思います。湘南地域は子供たちが増えています。転入してこられた方に、何故寒川に来てくれたのか聞くと、本当は藤沢市や茅ヶ崎市に住みたかったが、寒川町の建て売りのほうが安かったからといった理由で、寒川に住んでいる方もいます。理由はどうあれ、住んでいただければ良いのかなと思うのですが、やはり子どもたちをいかに大事に考えて、人口をいかに増やしていくか、それを考えていかなければいけないのではないかと思います。なので、町で行っている高さ制限はもってのほかだと思います。当時、そういったことが議論になった際、私も町に意見をしましたが、今でもそう考えています。また、町で寒川町独自のデジタル通貨を商工会と連携して行おうとしています。いかに寒川町を活性化させるかということを本当に考えていかなければいけないと思います。

【大久保委員】杉下さんからお話がありましたが、自治基本条例が制定されてもう何年も経っています。なので、一度機会を設けて、町の最高法規

である以上、今の時代に合わせて見直してもいいのではないかと思います。

【大森委員】 前回の会議でお話しさせていただいたのですが、私は今までまちづくり推進会議を、過去3～4回参加しておりますが、今までの軸がぶれないような会議にしていきたいと思います。また、これから様々なことを議論すると思うのですが、まちづくり推進会議だけではなく、他の審議会や一般企業とも、もう少し話し合い等を行い、前に進んだ企画にしていきたいと思います。また、ざっくばらんにお話ができるような会議の場を設けていただけると、より良い意見が出やすくなるのではないのかと思います。最後になりますが、せっかく今、多摩大学など協力していただけるような学校があるのはすごいことだと思うので、もっと多摩大学を全面に活かしていくと活性化するのではないかなと思います。私は、子どもたちが笑顔のまちは発展すると思っています。なので、子どもたちが笑顔になるようなまちづくりや企画、そういう推進会議であっていただきたいと思います。

【寺本委員】 皆さまのご意見をお聞きして、何でもできるというわけではないので、テーマを絞っていかなければいけない。皆さんの共通理解の中で寒川らしさをアピールするテーマを考えていかなければいけないと感じております。私は長年学校教育関係に関わっておりましたので、今、丸山さんから子どもたちのことについてのお話が出ていましたが、やはり子どもたちをいかに伸びやかに寒川の中で育てていくかというのは非常に大きなテーマだと思います。まちづくりの一環の中で、子どもたちとの関わりの中で活性化をしていくような方法をぜひ考えていただきたい、考えなければいけないと思っています。先ほど安田先生からも、農業と観光を併せた学習会のようなご提案もございましたが、農業をどのように活かしてまちづくりの活性化に図るというテーマに関して、私は大賛成です。その中で、やはり子どもたちといかに関わって、元気になるまちづくりをしていくかということ。また、B型事業所というものがあります。障がいを持った方たちの農業推進、そういう視点も非常に大事な視点じゃないかと思いますので、そちらも何かできればよいなと考えております。それから、自治基本条例の見直しについても、見直さなければいけないところがありましたら、私たちが考えて直していかなければいけないと感じております。

【齋藤委員】 今、皆様のご意見をいただきまして、子どもたちを巻き込んでということは必要だと思います。様々な行事などがあれば、それに付随する保護者たちも一緒に行うことができます。以前、農協からサツマイモ掘りやジャガイモ掘りなどに誘っていただきました。小谷小学校もずっと稲刈りや、お米を育てていますので、もう少し幅を広げていけばテーマが自然と広がっていくのではないかと思います。また、子供たちを巻き込んでということに関連して、私は自治会の関係で、毎月子ども食堂をやっています。月1回なのですが、大体150名程度の参加があります。お子

さんだけの参加や、保護者なども一緒になど、様々な形の参加があります。また、NPO法人が、無料で綿菓子やかき氷を提供してくれることがあります。そういう活動も、もう三、四年はやっているのですが、続けることが大事だと思います。規模はそんなに大きくはないですが、継続して根強くなり、本当に身近なことから一步ずつやっていくことが大切だと思います。今では未就学児向けに親子で参加できるサークルや、高齢者向けのサロンなども作っておりますので、この会議でも、横に広げていけるといいと思います。最後になりますが、私自身もそうですが、どうしても自治会の役員になると、負担があると感じる方がいます。しかし、災害時には、やはり身近な自治会や、地域のつながりがないと大変ということもあり、広報誌などで自治会に入りましょうと町からも加入を促進してもらっているのですが、中々広まっていけない実情があります、そういったこともこれからの課題になっていくと思います。自治会も、二次元コードを使った災害の居場所特定システムなどを作ったりしていますが、どうしても負担になると高齢者が抜けていたり、若い人が少なくなってしまう。来年4月から町のごみの出し方も変わります。今まで自治会で行っていた支援は、町が管理するようになる等、ごみの出し方の説明会を行ったところ、他の参加者から日々こういうことで困っている等の意見が出ていたので、そういった身近な問題も議論の必要があると感じています。

【星委員】農業などを通じて子どもたちとまちづくりを行ったり。自治基本条例を見直すことで、まちづくりに参加する心構えや、抛り所がしっかり分かり良いのではと思います。私は今回で2期目なのですが、前期に公募委員サロンに参加しました。初めての試みでしたが、参加者からはかなり好評でした。ほかの公募委員と集まって話をするのが、これからどうすべきかということにつながるのではないかと思いますので、また開催してみたらどうかと思います。

【中島委員】私はここに来るまでの間、もう一度寒川町自治基本条例を最初から一つずつ文言を見ながら読んでみました。文言として、後から説明があって分かるのと、これはやはり捉え方として難しいのではないかなと思う部分もあります。社会が変化してきているにも関わらず、5年経ってそのままにしておくのはいかがなものかと感じますので、やはり自治基本条例の見直しは必要なのではないかと思いました。今、皆さんのお話を伺い、退職はしましたが、私も保育園に勤めていて、小学校や地域の企業とのつながりがありました。農業というお話も出ていましたが、農業だけに限らず、企業の持っている様々なノウハウを使い、町の保育園、小学校、中学校など様々な施設をつなげていくのも、やりがいがある内容ではないかと思いました。

【藤澤会長】ありがとうございました。皆さんがそれぞれどういう思いでここに参加していらっしゃるか、そういったものが垣間見えたのではない

かと思います。それでは今出ている意見で決定していくということでよろしいでしょうか。

(全委員「異議なし」の意志表示あり)

【藤澤会長】 それでは、またご意見があればその度お伺いしたいと思います。今、皆さんの意見を聞いたところ、多かった意見が、自治基本条例の見直し、また、子どもの成長に寒川町がどうやって関わっていくか、農業をどうやって活かしていけるか、何を使いまちの活性化に活かしていけるのか、などの意見があったかと思います。そのほか、様々な意見が出ておりますが、自治基本条例の見直しについての意見が一番多かったかと思っておりますので、そちらメインテーマとし、第9期のまちづくり推進会議の2年間の取組としてよろしいでしょうか。

(全委員「異議なし」の意志表示あり)

【藤澤会長】 ありがとうございます。何か特段のご意見がある方はお伺いいたしますが、よろしいでしょうか。それでは、自治基本条例の見直しというテーマで2年間楽しく進めてまいりたいと思っておりますので、皆様よろしくお願い申し上げます。その中で、皆さんが仰っていた、様々な個々の意見も伺いながら、自治基本条例をあるべき姿に持っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、今後のスケジュールにつきまして、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 今後のスケジュールにつきまして、ご説明させていただきます。令和6年7月から令和8年の6月までのスケジュールとなっております。まちづくり推進会議の流れとしましては、本日決まりましたテーマ、自治基本条例の見直しということで、こちらについて協議を進めていきまして、令和8年5月、第9回の会議でまとめ上げた報告書を町長へ提出する予定となっております。第6回の会議までは内容について協議、検討していただいて、7回、8回でまとめに入り、9回の会議で報告書の確定、提出というところまで、今後進めていただきたいと思います。

【藤澤会長】 事務局より今後のスケジュールについて説明がありましたが、これについてご意見、ご質問はございますか。

(全委員「異議なし」の意志表示あり)

【藤澤会長】 自治基本条例の件について今期は検討することになりましたので、第1回会議に、自治基本条例や今までの経過、その他規則などの資料が渡されましたが、ほかに何か資料をそろえていただきたい等の希望がありましたら、今お伺いして、次回会議までに揃えたいと思うのですが、

特段ありますでしょうか。

【杉下委員】今後の流れで、自治基本条例の見直しをしていきたいと思います確認はしましたが、前期から続いているまちづくり懇談会や、先ほど、星さんから出た公募委員サロンなどはやらないということによろしいですか。やるのであれば、検討課題の項目としては確認をされたほうが良いかと思ったのですが、それについて確認をしたくて、意見をさせていただきました。今、2年間のスケジュール表が出てきたと思いますが、約2年間ずっと、自治基本条例の見直しをするということでしょうか。まちづくり懇談会などがないと、おそらく毎回見直しになってしまうと思います。議論のバランスや皆さんの準備もあるかと思いますが、自治基本条例は継続して行い、他にもあったほうが、皆さんの協議のしやすさがあるのではないかという意味で確認をさせていただきました。

【藤澤会長】今杉下さんが意見されましたが、他の提案といいますか、案をこういう形にしたらいいのではないかというご意見をいただけないでしょうか。

【杉下委員】まちづくり懇談会なども、町長が出席することで成り立つ会議です。すると、町長の空いている日程に合わせて、その前やその前の前の会議で議論をしましょうという話になるかと思います。ですから、空いている日程が分かった時点で、次回というよりは、その前2回の会議で議論をして、当日臨むといったスケジュールでいいかなと思うので、日程が分かった時点で反映するという形でもいいと思います。最初から2年間全て予定を入れ込むというのは難しいと思います。そこはまちづくり推進会議で決められることではないと思うので、他の委員の日程調整も含めて入れていただくと良いかと思います。

【中島副会長】私も前期、このまちづくり推進会議に出席させていただいた中で、先ほど星さんからお話があったように、公募委員サロンがとてもよかったと思いました。第8期会議のように、報告書を町長に渡す際に、町として、引き続きやってほしいとか、こういうものは続けていったほうが良いというお話は出るものなのではないでしょうか。

【事務局】公募委員につきましては、再公募を行う審議会が現在もある状況です。公募委員の募集をかけた際に一度で決まるのが望ましいです。第8期の委員から、第9期でも公募委員サロンの開催を行ったらどうかといった意見をいただいております。公募については、私どもも引き続き考えていかなければなりません。まちづくり推進会議でも、公募委員サロンなどをテーマとして考えていただけると非常に助かります。第8期の報告書に対して考えていく所管課は私たち町民協働課となります。いただいた後については、検討をして、それを実現できるように進めていくという流

れになります。しかし、今現在は実現への途中段階となりますので、結果などについても、まだお示しできず申し訳ございませんが、現状としてはそういった状況となっております。

【事務局】私も公募委員サロンに参加させていただきました。また、現在公募委員の選考委員もやらせていただいているのですが、やはり公募が少ないという状況で、二度、三度公募を行っていても、結局最後まで見つからないようなケースもございます。各審議会、広く皆様からご意見をいただくように公募委員を設けておりますので、お互いどういったことをやっているのかが分からない中で、前回の公募委員サロン開催後に、アンケートで感想をいただいた結果、「ほかの委員の検討内容がよく分かって良かった」などのお言葉をいただきましたので、今後、委員ではなく、委員以外の方で公募委員サロンに参加していただくような場を設けて、今まで委員をやったことがない方々も、公募委員に対して関心や意欲が湧くような場を、まちづくり推進会議の方で提供いただけるようでしたら、ご協力いただきたいと考えております。

【杉下委員】今後の自治基本条例の見直しなど参考資料の希望としての意見がもしあれば出していただきたいです。特にこのまちづくり推進会議に付随して、みんなの協働事業提案制度があり、町、町民、企業、それぞれが抱えている課題を、協働で行うことによって問題解決をし、町民が笑顔で暮らせるまちにつなげるための手法を、自治基本条例で整理していく必要があると思います。そのときに、協働事業もどうしたら実際に地域が活性化するかという全国の他の市町村の事例などがあれば紹介いただければ、なぜこの地域が活性化しているか、ではなぜ寒川ができないのかということから、今、自治基本条例のこの部分がまだ昔の時代に合ったものだから、そこを変えたらスムーズにできるようになるというもの、一つの見える化にもなってくるかと思うので、そんな事例集があったら用意いただきたいです。また、自分自身も協働事業を具体的にやってきた中で、フィルムコミッションで地域活性化するというのがあります。例えば市役所の前で、ドラマで若いカップルが告白するシーンなどを撮影したら、ここは若者の聖地になるかもしれない、そういったことが、上手にマッチングすると新たな集客になるなど。そういう事例があると、寒川町の自治基本条例をどう直していくべきなのかというのは参考になるかと思います。意見があるときは私も提案させていただきますし、事務局でもあればご紹介していただくとありがたいです。自治基本条例の見直しは中々難しいですが、そういう事例のためにつくるルールというよりも、手法と捉えられると、良い意味で身近に感じていただいて、最終的につながっていくと思うので、参考資料があればというお願いです。

【藤澤会長】寒川もフィルムコミッションというか、ドラマの一画面などには、町役場とか出ているのですが、観光客を集めるほどのものはまだ機

会がないかと思しますので、そういうことも本当に大事だと思います。

【小澤委員】今の杉下さんのお話、とても感銘を受けました。しかし、少し話が広がり過ぎかもしれません、例えば、子育て支援に力を入れている市町村の自治基本条例が見たいとか、観光事業に力を入れている市町村の自治基本条例が見たいとか、ある程度絞っていかないと、資料を探すのも大変だと思いますので、いかがでしょうか。

【藤澤会長】今、小澤さんが言われたような、何々に力を入れている自治体の自治基本条例って条文などに違いがあるのでしょうか。

【小澤委員】他市町村のものはあまり見たことがないので、分かりません。

【寺本委員】私もお聞きして分からないのですが、自治基本条例を見直すことにこの会を使っていくことになるのであれば、その他に様々な案が出ていたが。委員の皆さんから出た見直し以外の意見も活かしながら、そういった意見を含めた上での自治基本条例の見直しという理解でよろしいでしょうか。

【藤澤会長】仰るとおりです。

【寺本委員】先ほど小澤さんが仰っていたように、そうすると、様々な視点で、寒川町にとって何が一番大事なのかというところはもう少し焦点を絞って、決めていくべきだと感じました。

【藤澤会長】せっかく自治基本条例をつくるので、寒川町の特徴が少しでも活かせる自治基本条例にしていきたいと思うのですが、事務局どうでしょうか。

【事務局】自治基本条例については、幾つかこちらから、次回までに参考資料を出したいと思いますが、仰っていたように、どこかに焦点を絞り、自治基本条例の内容が変わることによって違いがあるのかという部分も含め、町民協働課でも調べて、資料を用意したいと思います。もし委員の皆様からも、参考となる資料を次の会議までに見つけた方がいらっしゃいましたら、事務局にご連絡をいただければ、その資料も用意したいと思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。

【藤澤会長】できれば寒川町の特徴を活かした良い自治基本条例になるように私たちも努力すべきだと思いますので、今事務局からもありましたが、皆さんからこういうもの、寒川町にあるのではないのかみたいなのがありましたら、参考になるものを探し、事務局に紹介していただければ、それを皆さんに諮り、より良い会議になるのではないかと思いますので、よろ

	しくをお願いします。 【中島委員】話を戻してしまって申し訳ないのですが、先ほど出ていた公募委員サロンについては、自治基本条例をやっていく中で、前回やったので、事務局には前回の資料がありますよね。なので、どうやれば2回目の公募委員サロンを1回目のよりも良いものにできるかというのは多分、事務局が一番分かっていると思います。そういう中で、第9期の中では、先ほど部長が言われたように、公募委員ではない一般の方々にも参加していただけるような公募委員サロンが開催出来たら良いのではというのも、前回、第8期の中で出た意見でもありましたが、それについてはやらないという方向で進めるのでしょうか。それとも、やっていく方向で進めていくのでしょうか。 【事務局】皆さんの中で、一般の方に向けて開催したいというご意見であれば、そうしていただけるとよろしいかと思います。 【事務局】せっかく去年開催していただきまして、ここで終わるというのは非常にもったいないと思います。ですので、逆にこれを定着させて、もっと発展的に開催できればと事務局で考えておりますので、ご負担にならなければ、引き続きやっていただきたいと考えております。 【藤澤会長】よろしいですか。それでは、多くのご意見を出いただきまして、ありがとうございました。本日の会議につきましては、これで終了したいと思います。 5 その他 ○次回会議 開催日程 12月23日（月）午後3時00分～ 6 閉会	
配付資料	第9期 寒川町まちづくり推進会議委員名簿	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	齋藤委員、寺本委員（令和6年12月19日）	